

古 典 紹 介 ・ 解 説

孔子廟堂碑①

岩崎 双琴

孔子廟堂碑は、唐の第二代皇帝太宗の勅命によって、長安の国子監（国立大学）内の孔子廟が再建されたことを記念した碑です。太宗は虞世南の人柄を信愛し、碑文の選書を彼に命じました。

虞世南（五五八・六三八）は書を、王羲之七代の孫智永に学び、羲之風の継承者と言われています。

優雅さと気品の高さ、穏やかさと温かみの感じるこの碑を、半年間じっくり鑑賞しながら学んでいきましょう。

集字聖教序①

高橋 素香

この碑は唐の高宗の咸亨三年（六七二）、長安にある弘福寺内に建てられ、今は西安碑林に列置されています。高さ三五〇cm、広さ一一三cm、七仏を彫っているところから七仏聖教序とも言われています。碑文三十行、字数八十五〜八十六文字、全文一九〇四字。すべて懷仁^{えにん}が王羲之の行書を集字したものです。

聖教序とは、玄奘三蔵法師がインドより將來（もつてくる）した仏典を新たに訳したもので、それを太宗と高宗の返答の書で般若心経を含め続刻しているのが集字聖教序です。

蘭亭序と野茂に行書の典範と仰がれている古典を半年間学んで行きましょう。